

令和4年度「区民広報紙」提案競技課題について

課題は、「野生動物と正しくつきあいましょう」というテーマです。

神戸市中央区の特性をふまえて、区民を対象とする「区民広報紙中央区版6月号」16面（紙面1面分）を、令和4年度「区民広報紙」版下作成業務委託仕様書に基づき、別紙の課題原稿をもとに制作してください。

【紙面制作にあたっての指定事項】

- 制作紙面は、広報紙の規格（タブロイドD判サイズ）に合わせて制作すること。
- 右開き、横書き、全てカラーで制作すること。なお、カラーユニバーサルデザインにも配慮すること。
- タイトル・小見出しのコピーは、変更を可能とする。
- 課題原稿に記載している各トピックス（小見出しの内容）は全て盛り込むこと。ただし、意図が損なわれない範囲で原稿を整理することは可能とする。
- 必要に応じて、写真やイラストを追加すること。
- 市の有害鳥獣被害対策に関する情報は、下記ホームページを参照すること。

<https://www.city.kobe.lg.jp/a99375/shise/kekaku/kezaikankokyoku/yugaichoju/dial.html>

【課題原稿（令和4年度「区民広報紙」版下作成業務 提案課題）】

区民広報紙 中央 6月号

広報印刷物登録 令和4年度第4号-2（広報印刷物規格 A-1 類）

発行 中央区役所

受付時間 8：45～17：15 毎週木曜は 19：45 まで（一部窓口）

〒651-8570 神戸市中央区雲井通 5-1-1

☎232-4411（代）FAX242-3599 中央区 検索

インスタグラムアカウント kobe_chuo ツイッターアカウント @kobe_chuo

中央区の姿（令和4年5月1日現在）

人口／●●●●●●人 世帯数／●●●●●●世帯 面積／●●●●●●km²

野生動物と正しくつきあいましょう

この時期になると、イノシシやカラスなどの野生動物と出会う機会が増えてきます。昨年、諏訪山公園（中央区諏訪山町 1-1）付近において、イノシシに指をかまれてけがを負う事故が発生いたしました。危険な目にあわないよう、正しい距離感を知り、動物と共生していきましょう。

イノシシやアライグマによる被害や、その他の動物被害については、市鳥獣相談ダイヤルへご相談ください。☎333-4408（8:00～21：00 年中無休）

イノシシ

（市民の声）街に下りてくるのは山に餌がないから…餌をあげてもいいの？

（職員の声）イノシシが市街地に出没するのは、山に餌がないからではありません。イノシシには絶対、餌を与えないでください。

イノシシは本来、山の中にある木の実などを食べて生活しています。しかし、餌を与えられることで人に慣れてしまったイノシシは、市街地に出没し、人を襲うようになることがあります。六甲山は緑豊かな山であり、餌がないではありません。餌付けは条例でも禁止されていますので、絶対にやめましょう。餌付けを見かけたら、市鳥獣相談ダイヤルまでご相談ください。

（市民の声）1度くらい夜にごみ出ししてもいいかな…

（職員の声）人間にとっては「ごみ」でもイノシシにとっては、「ごちそう」です。ごみ出しのルールは守りましょう。

夜間にごみ出しをすると、イノシシはそれを狙って市街地に出没します。人の出したごみの味を一度覚えたイノシシは、市街地を徘徊するようになります。ごみ出しは、決められた日の朝 5 時から 8 時までの間に正しく分別して出しましょう。

アライグマ

(市民の声) アライグマは見た目がかわいいな…

(職員の声) 野生化したアライグマは気性が荒く危険です。アライグマを見かけたら、市鳥獣相談ダイヤルへ。

野生化したアライグマは、家を傷つけたりペットを襲ったりするなど、さまざまな被害を発生させます。市では捕獲檻の設置を業者に依頼して実施しています。

カラス

(市民の声) カラスが道でうずくまっているんだけど…

(職員の声) けがをしているのではなく巣立ちびなの可能性があります。威嚇されたら近寄らず、すぐに立ち去ってください。

成鳥とほとんど見分けがつかなくなった巣立ちびなが、道路上にうずくまっている場合があります。巣から落ちたひなを守るため、親ガラスが近くを通りかかった人を威嚇・攻撃することがあります。危険な状態にある場合、市鳥獣相談ダイヤルまでお問い合わせください。

サル

(市民の声) 街中にサルがいるなんて珍しい…かわいい目でこっちを見ている…

(職員の声) 目を合わすと、サルが威嚇されたと勘違いして危険です。目を合わしたり、大きな声で驚かせたりしないようにしましょう。

群れから離れ、単独で行動する「ハナレザル」が、市街地に迷い込んだりすることがあります。そのままにしておけば、ほとんどが山に帰っていきますが、餌を与えられるなどして人に慣れたサルは頻繁に出現することもあります。見かけたら、市鳥獣相談ダイヤルまでご相談ください。

詳細は